



発行 子ども学習支援グループ須賀の寺子屋

コロナ禍は2類から5類となり終息の方向が見えてきました。新年度となり、新たな生徒を迎え、運営委員会も留任・新任と新体制となりました。また、好評の「学習支援のヒント」の他、事業報告やお世話になっている食料品寄贈の紹介など、情報を共有して活動にお役立てください。(NT)

2023年度活動スタート！

2023年度の総会も無事に終わり、いよいよ8年目の須賀の寺子屋の活動がスタートしました。

会員55名(学習支援員31名、見守り支援員11名、保護者会員13名)の皆様と共に、子どもの学習支援・食支援・相談活動を通して包括的な支援活動を実施してまいります。

○ 学習教室には、小学1年生から6年生まで31名。中学生が21名。高校生はボランティアも含めて8名が



参加し、学習支援員と楽しみながら意欲的に学習できる生徒の育成に取り組みます。

○ 食支援活動では、49世帯103名の子どもを対象に



毎月4回軽食や食料品の提供をします。多くの企業や法人様、篤志家様等の多大なるご支援で、子どもや家庭の健康と笑顔作りの一助を担ってまいります。

○ 様々な悩みを抱える、子どもや保護者の相談に応じ、心の支えとなってまいります。

○ より多くの子どもや保護者の支えとなれるよう、同じ志を持った仲間・団体(ひらつか子ども学習支援ネットワーク、ひらつか子ども食堂ネットワーク、ひらつか子ども・子育て支援ネットワーク)と連携して活動してまいります。また、独立行政法人福祉医療機構(WAM)様の「こどもの未来応援基金」、かながわ生き生き市民基金様、平塚市社会福祉協議会様、港地区社会福祉協議会様の助成と賛助会員様、篤志家様等多数のご支援により、今年度も「一人ひとりの子どもに寄り添った支援」を全力で取り組んでまいります。(代表 大野 文)



2023年度運営委員(セクションリーダー)紹介

伊藤美千枝(小学生担当)

前年度に引き続き今年度も、運営委員、小学生支援員のセクションリーダーをすることになりました。須賀の寺子屋に來ている小学生の子どもたちが増え、支援員が足りない現状ですが、工夫し、子どもたちに楽しく過ごしてもらえようとしていきたいです。よろしくお願いします。

薄木みさ子(小学生担当)

今年度、小学生セクションリーダーをさせていただきます。運営委員会では、諸先輩方から、私の限られた経験からは出て来ない、深い知見によるご意見をお聞きすることができ、勉強になります。小学生も人数が増え、本人の特徴・背景も様々です。何をしたら、より子どものためになるのか、学ぶ一年にしたいと思っています。

中里 恵(中学生担当)

運営委員の中里です。数学の学習支援、新規加入の学習支援員さんのお手伝いをしています。最近AI(ChatGPT)をスケジュール作成(移動時間や滞在時間を含む)に利用しています。15秒位で完了し時刻表や現地ガイドを見る手間が省けます。今後、個々の生徒の学力や性格に合った資料や学習計画の作成に活用できると思いました。

雨宮恭基(中学生担当)

今年度の運営委員会に再任しました雨宮です。宜しくお願いします。子どもたちから上がっている「寺子屋に行くのは楽しい」という雰囲気は継続しつつ、今年度は受験生である3年生、そろそろ受験準備が必要な2年生の人数が特に多いので、支援員の皆さんと連携して良い結果を目指していきたいと思っています。

新ホームページ完成

<https://sukanoterakoya.com>

支援員の門馬さん、守山さんのご尽力と株式会社ボンド様のご協力により、5月16日に新しい須賀の寺子屋ホームページが完成しました。「支援員のページ」を新たに設け、皆様へより充実した情報提供が出来るようになりました。(今後、個人のIDとパスワードを順次お知らせいたします)

必要としている方々に情報が届き易くなりますように、毎日1回は閲覧をお願いいたします。

学習支援のヒント

中学生担当 廣庭勇さんからのヒント

私は、3年生を担当しています。寺子屋での授業は、生徒の質問に答える形で進めます。その際、自分の説明が、くどくならない様に、気を付けています。

教科書を理解するのが基本と考え、手製のテキストをいわば紙の家庭教師として、自宅学習用に渡しています。英語は、①主語②動詞③その他の追加情報の3ブロックに分けて、どんな構文も後戻りせずに、一方向で理解するように指導します。丁度、計算機で、1+2+3...と足し算すると、逐次かつ即座に答えが表示されるイメージで意味を理解するためです。夏以降は、入試によく出る表現を、秋以降は、入試問題そのものを課題にします。全体を通して、生徒が、英語学習を楽しんでいる様にしたいと思っています。

小学生担当 武次 秀さんからのヒント

現在小学生を担当しています。私が学生時代にやっていた勉強法と言えば、試験の前に徹夜で丸暗記して臨むという、最悪の勉強法でした。試験が終わったら、覚えた内容をすべて忘れてしまうの繰り返しでした。

その時の失敗から学んだことは、「印象に残らないものは直ぐに忘れる。嫌いな勉強は長続きしない」と言うことです。逆に「興味を持って学んだことは、なかなか忘れない。好きな勉強は長く続けられる。」と言うことになります。

そこで小学生寺子屋では、少しでも興味を持って学んでもらえるように、パソコン、タブレット等を使用し、画像、写真などを組み合わせた、学習に心掛けています。

食品の寄付・協力団体のご紹介

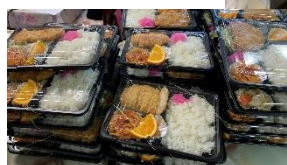
毎月多くの食品寄贈や軽食の協力をいただいております主な企業・団体様のご紹介をいたします。

- ☆ 敷島製パン株式会社湘南工場様より
毎週水曜日に食パン12斤
- ☆ 株式会社タカヨシ「わくわく広場」様より
毎週木曜日に新鮮野菜
- ☆ NPO法人報徳食品支援センター様より
食糧品、冷凍食品、菓子類等
- ☆ ひらつか子ども食堂ネットワーク様より
米、菓子類、文房具等
- ☆ NPO法人未来経験プロジェクト様より
米、非常食等
- ☆ 高久製パン株式会社様より
菓子パン
- ☆ 一般社団法人SISAひまわり食堂様より
お弁当・お弁当

お弁当の食後デザートは
クリームを付けた食パン→



中学生に大人気の
サバイバルスープ
→



支援員スキルアップ研修会①報告

5月21日(日)と26日に「熱中症対策講習会」をZoomで開催しました。日曜日の午前中は8名、金曜日の夜は7名が受講。講師は、熱中症アドバイザーの大野 文氏。



本格的な猛暑が来る前に、正しい熱中症の知識と対処方法を学び、自分と周囲の人や生徒が暑さに負けず健康で楽しい日々を過ごせるように学習しました。

保護者説明会報告

5月11日(木)須賀公民館調理室で保護者説明会と簡単おやつ作りを行いました。調理の指導は、大家族のために工夫を凝らした料理を作る名人、保護者会員の府川琴江さん。そのアイデア料理の一つ「野菜パンケーキ」を教えていただきながら、集まった13名はお喋りをしながら、短くとも楽しい一時を過ごしました。



府川琴江さんの感想

保護者説明会に参加し、ご支援が勉強・食料品に留まらず、行き帰りの保険に至る細やかさに、改めて感謝いたしました。またお母様方と、顔合わせの機会にもなり、大変ありがたかったです。お世話になるばかりですが、今後とも宜しくお願いいたします。

祝 受賞

ニッセイ財団

生き生きシニア活動顕彰

授賞式の様子は次号で報告します

須賀の寺子屋の活動の情報は以下のSNSでも紹介しています。

ホームページ <https://sukanoteragoya.com>

Facebook <https://m.facebook.com/people/>

本誌の掲載内容や写真データを無断で転写したり、SNS等へ投稿したりすることは固く禁じます。